

オイルのゲル化技術と物性制御

日時
 2019年 3月28日 (木)
 10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

講師 東京工科大学 応用生物学部 先端化粧品コース
 化粧品材料化学研究室 教授 博士(工学) 柴田 雅史氏
 京都大学大学院工学研究科石油化学専攻修了、
 花王株式会社スキンケア研究所グループリーダー

受講料

1名 37,000円+税
 2名以上1名 34,000円+税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
 JR中央線(緩行線)
 地下鉄東西線(A5出口)
 地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
 都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

プログラム

- ・油性ゲル化剤の種類とゲル化の機構
 1. 低分子ゲル化剤
 2. 粒子によるゲル化
 3. オリゴマー、ポリマーによるゲル化
 4. 乳化を用いたオイルのゲル化
 5. オイルワックスゲル
- ・オイルワックスゲルの硬度発現機構
 1. オイルの種類と硬度
 2. ワックスの種類と硬度
 3. オイルゲル化に適するワックスとは
- ・化粧品における油性ゲルの活用の実際
 1. スティック製品(口紅、リップクリーム、制汗剤)
 2. ペースト状、ゼリー状製品(リップグロス、オイルゼリー)
 3. 鉛筆状製品(アイライナー、リップライナー)
- ・食品、医薬品での油性ゲルの活用
- ・ゲルを崩す、崩したゲルを活用する
 1. ゲル化剤とつやの関係
 2. スティック製品の感触制御
- ・油性ゲルの構造評価
 1. 熱分析の活用
 2. 光学顕微鏡観察
 3. SEM観察
 4. レオロジー評価
- ・油性ゲル製品のトラブル
 1. 結晶の析出(ブルーミング)
 2. オイルの分離(発汗)
 3. 製造条件によるゲル物性の変化
 4. 経時での物性の変化
 5. 共存物質によるゲル物性の評価
 6. トラブルの定量的評価方法

質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
 E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 オイルのゲル化技術と物性制御

セミナーコード

1101-190328

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/3/28 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				